

スタッフ便り

令和8年の新年度が始まりました。

例年、年度末の3月は、退職されたり異動されたりする教職員の皆さんとお別れをしなくてはならない季節なのですが、特に今年の3月は、これまでセンターに密接に関わってくださった多くの方々が去られ、例年よりもさらに寂しさが際立った年度末となりました。センター長を歴任され現在のセンターの礎を築かれた先生、昔からTAINSの運営にご協力いただいた先生、スパコンをフル活用して多くの研究成果を出していただいたヘビーユーザの先生、機構の関係でセンター運営にも貴重なアドバイスを頂いた先生、ネットワークやセキュリティ関係で先頭に立って引っ張ってくれた職員の方、事務を支えてくださったスタッフの皆さん。中心的な役割を担ってこられた方々が去られ、世代交代を強く感じたこの春。

また、このSENAC編集にも長年に渡って携わっていただいたスタッフのSさんも3月をもって退職されました。長い間、誠にありがとうございます。センター玄関の生け花も見られなくなって寂しいです。

4月になり、これまた例年になく多くの教職員の方々を迎え、センターも新たなスタートを切りました。去られた皆さまにおかれましては、これまで支えていただいた本センターをより大きく発展させるために、みなで頑張っていこうと思いますので、見守っていただければ幸いです。新しい生活でのご活躍とご健勝を祈念しております(T.S)。

この春、再雇用期間が終了し東北大学職員を卒業することとなりました。サイバーサイエンスセンター広報誌SENACの編集・発行作業に20年間関わらせていただきました。前任者の気の重い仕事だったという言葉通り、記事に関してはほとんどの執筆者がお会いしたことがない教員の方々で、緊張のやりとりでした。また、発行目標時期がきまっているのに思うように記事の準備が進まずの状態でした。当初は私にとっても気が重い仕事の一つでした。利用相談関係の仕事も担当していましたが、ある日利用相談室でテクニカルアシスタントの大学院生と雑談中にSENACの仕事の愚痴をこぼしたところ、「そんなこと言わないで日本一の広報誌作りましょうよ。」と励まされました。「えっ！日本一、ないないない。」と即答しましたが、その会話をきっかけに、自分ももう少しがんばってみようという作業を見直したりして、それ以降執筆者とのやりとりや、いただいた投稿原稿の内容にも少しですが、楽しさや興味を覚えることが増えました。決して立派に発行できたとは思っていませんが、なんとか20年間途切れることなく発行できたことにほっとしています。この間での大きな変化は、冊子とオンラインでの発行から、オンラインジャーナルのみの発行(2020年)になったことだと思います。巻頭言、研究成果、各種資料、受賞のコメントなど多くの全国の皆様に執筆いただきました。また編集部会のメンバーと印刷業者の担当者にはいつも暖かい気持ちでご協力いただきました。関わっていただいたすべての方々に深謝申し上げます。近年、国内の機関で発行される広報誌が、激減しているように感じています。当センターのSENACもいつまで発行され続けるかはわかりませんが、今後はウェブサイトたまに覗いて、スタッフ便りなどを密かに楽しみたいと思っています。(K.S)

【サイバーサイエンスセンター・情報部デジタルサービス支援課スタッフ 着任・採用のお知らせ】

2025. 4. 1 着任

小笠原 朋美 総務係 係長
川綱 美優 総務係 事務職員

2025. 4. 1 採用

垂石 ひなた 会計係 事務職員
西岡 保幸 総務係 事務補佐員
JIN YIFAN スーパーコンピューティングサポートユニット 情報系職員

SENAC 編集部会

滝沢 寛之 水木 敬明 後藤 英昭 河合 直聡
小笠原 朋美 佐々木明里 大泉 健治 小野 敏
奥島 忍

	2026 年 4 月 発行
編集・発行	東北大学 サイバーサイエンスセンター 仙台市青葉区荒巻字青葉 6-3 郵便番号 980-8578
PDF 作成	株式会社 東誠社